

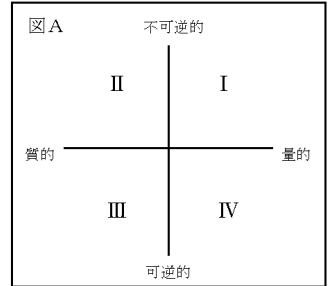
【1】～【50】はマーク解答欄の番号を、①～⑩は解答の選択肢の数字を表している。

設問 I

次の文章(1)～(10)の空欄【1】～【40】は、それぞれの文章の下の①～⑩のどれを採用すればもっともよく完成されるか(数値の場合は最も近いものはどれか)、その数字をマークしなさい。また、空欄【36】～【40】に該当する人名を最後の〈語群 I〉から選び、その数字をマークしなさい。

(1)【36】によれば、右図AのⅡの【1】では時間が【2】としてイメージされるのに対し、Ⅳの【3】では時間が【4】としてイメージされる。こうした対照的な時間意識は、アウグスティヌスの『神の国』とトゥキディデスの『歴史』からも読みとれるだろう。

- ①アニミズム ②キャピタリズム ③グローバリズム ④ヘブライズム ⑤ヘレニズム
⑥円環 ⑦線分 ⑧直線 ⑨波動 ⑩反復



(2)世界の総人口は、1世紀から18世紀半ばまでの間にほぼ【5】倍になり、18世紀半ばから20世紀末までの間にほぼ【6】倍になったと推定されている。2018年現在、74億人以上と推計されているが、今からおおよそ【7】年前には、その半分程度であった。

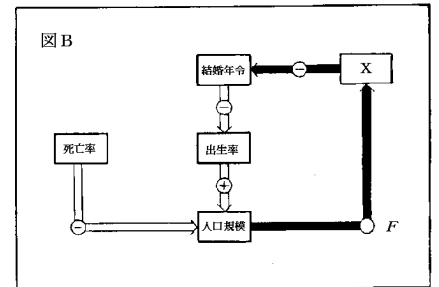
- ①2 ②3 ③5 ④8 ⑤10 ⑥20 ⑦30 ⑧50 ⑨100 ⑩150

(3)統計上は【8】歳以上【9】歳未満を生産年齢人口、【8】歳未満の年少人口と【9】歳以上の老年人口をあわせて従属人口と呼ぶ。急速に少子高齢化が進む日本では、2016年の時点で、従属人口と生産年齢人口の比は【10】に近づき、年少人口と老年人口の比は【11】を越えている。

- ①15 ②18 ③20 ④60 ⑤65 ⑥70 ⑦1対2 ⑧1対3 ⑨2対3 ⑩3対4

(4)【37】は、【12】によって右図Bの【X】の【13】がもたらされると、黒矢印Fの符号が【14】となって人口増加が持続するというモデルを提示している。

- ①外国貿易 ②実質賃金 ③就業機会 ④商業的農業 ⑤小農経済
⑥食糧供給 ⑦相続年齢 ⑧農村工業 ⑨+ ⑩-



(5)【38】によれば、日本の人口は江戸時代半ばの享保の頃に【15】万人弱に達し、その後は【16】日本では増加傾向があったものの、全体としては停滞したまま幕末を迎えたと推定されている。田畑面積も享保以降は横ばいとなったが、実収石高は増加し続けたのは、「【17】revolution」が起こったからだという。

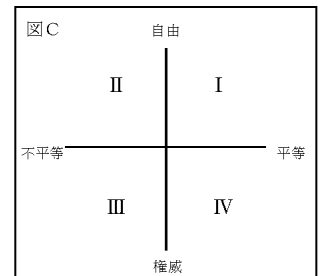
- ①1000 ②2000 ③3000 ④4000 ⑤5000
⑥東北 ⑦中央 ⑧西南 ⑨industrial ⑩industrious

(6)1975年には4人以上の世帯が日本の総世帯数の【18】近くを占めていたが、2015年には1人世帯が全世帯の【19】を上回り、2人世帯と合わせると全世帯の【20】を越えている。総人口の【21】以上が一人暮らしで、男性の生涯未婚率も【22】に近づいている。

- ①1/7 ②1/5 ③1/4 ④1/3 ⑤2/5 ⑥1/2 ⑦3/5 ⑧2/3 ⑨3/4 ⑩4/5

(7)【39】によれば、配偶関係で【23】制を前提として、ヨーロッパの家族形態は右図Cのように分類される。Ⅰは【24】に典型的な【25】家族、Ⅲは【26】で支配的な【27】家族である。

- ①内婚 ②外婚 ③イギリス ④イタリア ⑤ドイツ ⑥フランス
⑦共同体 ⑧絶対核 ⑨直系 ⑩平等主義核



(8)【40】は、景観的に東のムラは【28】、西のムラは【29】の印象を与えることを出発点として、東日本の「【30】」と西日本の「【31】」という村落組織の相違を強調した。

- ①赤 ②金 ③黒 ④茶 ⑤緑 ⑥字 ⑦組 ⑧座 ⑨衆 ⑩番

(9)「平成の大合併」の結果、全国の市町村数は2016年10月10日時点で1718(特別区を除く)となり、明治22年の「市制町村制」施行時の【32】分の1近くまで減少したことになる。「市」の数は791となり、「市制」施行当初の【33】倍を超えた。2015年の推計では日本の市部人口は総人口の91.4%だが、実質的な市街地である【34】(人口集中地区)について集計するならば、総人口の2/3が国土の【35】分の1ほどの面積に集中していることになろう。

- ①2 ②3 ③5 ④10 ⑤15 ⑥20 ⑦30 ⑧DCD ⑨DID ⑩DPD

〈語群 I〉 ①オットー・ブルンナー ②エミール・デュルケム ③エマニュエル・トッド ④落合恵美子 ⑤川島武宜
⑥速水融 ⑦福田アジオ ⑧真木悠介 ⑨三戸公 ⑩宮本憲一

設問Ⅱ

以下の文章は(一部省略した部分もあるが)すべて講義資料のプリントからの抜粋である。【41】～【45】については(語群Ⅱa)から著者名を、【46】～【50】については(語群Ⅱb)から該当する語句の原語を選び、その数字をマークしなさい。

【41】《従って憎んで最も当然なのは高利貸しである。》

【42】《今日に至るまで、あらゆる社会の歴史は、階級闘争の歴史である。》

【43】《決定的といえるのは、都会生活が、食糧確保のための自然との戦いを、人間をめぐる戦いに変えてしまったことである。》

【44】《人が大きな祖国に愛着を抱くのは、家族という小さな祖国を通じてである。良き市民を作るのは、良き父、良き夫、良き息子である。》

【45】《文明社会では、人間はいつも多くの人たちの協力と援助を必要としているのに、全生涯をつうじてわずか数人の友情をかちえるのがやっとなのである。》

●《大都市は【46】そのものの典型である。》

●《詐欺を知らない商売や地位はなくて、いかなる【47】にも欺瞞があったのだ。》

●《中世の都市市民の置かれた政治的状況は、彼らをして【48】たるべき道を歩ませた。》

●《そこで雄弁に話す能力の優れているといわれる者は、【49】すなわち貿易業者・商人の[……]主と呼ばれているのである。ない。》

●《ヨーロッパの諸々の交易国民は、それぞれがある特定の港を目指して先頭を争っている一群の船舶と考えられる。[……]同じ風がどの船にも吹きつけるのであるが、この風はすなわち、すべての消費者をして最も安く最も良い市場を求めさせるところの、【50】の原理である。》

- 〈語群Ⅱa〉 ①アリストテレス ②ウェーバー ③ジンメル ④ステュアート ⑤スミス
⑥テンニエス ⑦フーコー ⑧ポルタリス ⑨マルクス ⑩マンデヴィル

- 〈語群Ⅱb〉 ①Calling ②Gesellschaft ③Homo Politicus ④Homo Oeconomicus ⑤Invisible Hand
⑥Mercurius ⑦Publick Benefits ⑧Self-Interest ⑨Solidarité Organique ⑩Stateman

自由論題 (任意解答 — 「記述解答欄」の枠内に記入すること)

A. この講義で扱われながら今回の試験には出題されなかったり、あなたがこの講義に関連して自習した事柄を題材にして、簡潔で口調が良く記憶しやすいキャッチ・フレーズを創作してください。できるだけ具体的なデータや固有名詞・専門用語を盛り込み、「もじり」や「ひねり」がきいているほど高得点になるでしょう。

[解答例] イタリアの南部に多いマスオさん 家族のかたちも経済次第? (字余り)

Delilleの研究によれば、Campaniaの「同姓居住区」とPugliaの「婿入り制」は相互補完的。

B. この講義の配付資料(プリント)の中で—今回は出題されなかったけれど—あなたにとって印象深かった「名言」を、できるだけ正確に引用し(著者名や書名が明記されていないものは無効)、コメントを加えてください。

[解答例] 「世界史は東から西へむかいます。」—「歴史の終わり」をめぐるヘーゲル『歴史哲学講義』の名言。

「自由」という目標は実現しても、「それでも地球は回っている」(by ガリレオ)。

A・Bとりまぜて(どちらだけでも可)3題まで解答可能。1題につき20点を上限として加点の対象とします(嘆願などを書いた場合は減点)。なお、優秀作品は来年度以降の講義で(匿名で)紹介させていただくかもしれませんので予め御了承願います。